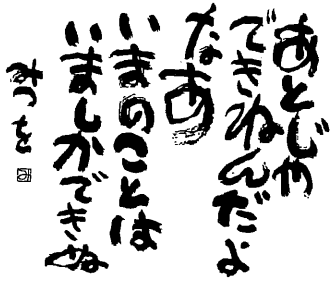


さくら第517号

令和 5年1月

# さくら

発行所 さくらそろばん  
 発行者 平瀬重雄  
 春江町境 17-7 TEL51-1337  
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



## 『暗算十段合格』

全珠連段位暗算検定試験第412回が令和4年11月27日に全国一斉に施行され、福井県珠算会館で受験した島田常央君と松森健太君が支部審査で十段と判定されたので、翌日、全珠連本部へその解答問題が送付され本部審査を受けることになりました。

12月中旬に京都の本部から審査結果が届き、2名とも見事十段に合格しました。本部へ提出する書類に保護者が署名と押印をし、顔写真をそえて送付しました。

今回の合格でさくらそろばんからは、4名が十段合格者となりました。九段、八段などの高段位生は十段合格を目指し練習しています。

段位暗算検定試験について説明します。

「乗暗算問題40題」小数を含む。2桁×2桁～4桁×4桁。1題各5点で200点満点。

「除暗算問題40題」小数を含む。4桁÷2桁～8桁÷4桁。1題各5点で200点満点。

「見取暗算問題40題」3桁5口～5桁8口。40題各5点で200点満点。制限時間各3分間合格基準点は3種目とも下記の点数で合格します。準初段70点、初段80点、準式段85点、式段90点、準参段95点、参段100点、準四段105点、四段110点、準5段115点、5段120点、準6段125点、6段130点、7段140点、8段150点、9段170点、十段190点。

9段までは連続3回受験点数の特認制度があるので、前回不合格の種目がクリアされれば昇段しますが、十段は毎回、一発合格のみなので困難です。

見取暗算でよく不合格になるので問題内容

をまとめてみました。

「見取暗算」制限時間3分。40題。

計算字数＝869字(0も含む)。答の数183字でコンマの数＝38個。記入合計＝221字。

もし、数字とコンマを1秒で5字書くと221字÷5字で答えを書く秒数は44秒かかります。

3分(180秒)－44秒＝136秒の計算時間となり、869字÷136秒＝約6.4秒。つまり、1秒で平均約7字を計算することになりますが、繰り上がり、繰り下がりがあるので約8秒で計算。

合格基準は3種目とも190点以上です。

清水東小学5年の島田常央君は平成31年末に1年生で入塾。それまで県外の塾で習い珠算4級合格でした。

令和元年11月24日の検定で珠算2級合格し、令和2年1月26日に1級合格。令和3年9月26日に珠算四段合格です。

段位暗算は令和2年7月26日に式段合格。九段が令和3年7月18日でした。

松森健太君は令和3年10月に他の塾からさくらそろばんに入塾し、全珠連検定問題を初めて練習し、現在、珠算は六段。段位暗算初受験の見取暗算でコンマが不明瞭で九段でした。(下記は県支部で九段合格後の判定です)

回	島田常央			松森健太		
	乗	除	見	乗	除	見
408				190	200	190
409	195	190	180	200	195	195
410						
411	190	190	165	190	200	200
412	200	200	190	195	195	195

京都の全珠連本部での中央審査ではコンマの向きが悪い、数字にわずかだが引っかかっている。4のヨコ線がタテ線から少ししか出ていない。5の上のヨコ線が小さい。数字がうすいなどの理由で不合格になりました。

いかにしてだれが見ても納得できる数字を書くかであり、そのためには余裕をもって数字を書くには計算スピードアップをはかるかですが、日々の練習の中で工夫し根気よくやり続けることしか方法はありません。努力のみ。